

3カメラドライブレコーダー

3 cameras drive recorder

ADR-FIR33

取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

本製品を安全にお使いいただくために、ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、大切に保管してください。



※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

※本説明書に使用されている画像は、イメージです。見え方や細部に違いがある可能性があります。

製品に関するお問い合わせ

カスタマーサポート



0570-030-220

メールでのお問い合わせ

info@mitsukin.info

※ご返信にお時間が掛かる場合がございます
あらかじめご了承ください。

電話受付時間：月～金曜日 10時～12時/13時～17時

(祝日・年末年始・夏季休業期間・会社都合による休日を除く)

※お問い合わせの際は、お手元に商品のレシート、もしくは納品明細書等のご購入時情報の分かるものを
ご準備頂きますようお願い致します。

目次

1. セット内容	1
2. 安全にお使いいただくために	2~6
3. 本体各部の名称	7
4. 取付・ご使用前に	7
5. 取付方法	8~10
6. 操作方法	11~12
7. 撮影について	13~15
8. 動画の再生	16
9. 機能設定	17
10. 本製品仕様	18
11. 故障かなと思ったら	19
12. 情報	20

■ 録画容量の目安

■ Gセンサー作動時のイベント録画タイミング

1 セット内容

お取り付け前にセット内容が不足していないかご確認ください。

不足品がございましたら、弊社カスタマーサポートまでお問合せください。

また、改良のために予告なく製品内容が変更されることがあります。予めご了承ください。



本体:ADR-FIR33

(取付ベース付)※レンズに保護シートが貼ってあります。

その他の付属品

シガー電源ケーブル

バックカメラ

バックカメラケーブル

バックカメラ車内用スタンド
(出荷時 バックカメラに取付済)

バックカメラ車外用スタンド

クリーニングクロス

microSDカード 32GB
(出荷時 本体セット済)

3M両面テープ

フロントガラス保護シート

保証書

2 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただき、お客様や周りの方、物への被害を防ぐため、必ずお読みください。

注意事項の定義

本書の注意事項は、そのレベル、内容ごとにマークを設けています。
各々の定義（意味）を充分に理解されたうえで、お取り扱いください。

-  誤った取り扱いをすると、死亡や重症などを負う可能性が想定されるもの
-  誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性、または物理的損害が発生する可能性が想定されるもの
-  誤った取り扱いをすると、法律違反となる可能性が想定されるもの
-  取り扱いにおいて知っていると有益な情報



安全上お守りいただきたいこと

-  破損や故障など、異常な状態のまま使用しないでください。発煙、異音、異臭などが発生した場合は直ちに使用を中止してください。事故や火災の原因となります。
-  走行前に取付状態を確認してください。脱落、落下などにより、ケガや事故の原因となります。
-  動作確認のための急発進や急ブレーキは行わないでください。ケガや事故の原因となります。
-  病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。ペースメーカーや医療用電気機器などの誤作動の原因となる恐れがあります。
-  バックカメラを表示した状態には死角があります。事前に死角範囲を確認してご使用ください。
-  運転前はドライビングポジションを取り、車両後方が見えるように本体の位置合わせを行ってください。
-  録画映像を再生したまま運転をしないでください。



電源コードや各端子部のホコリや汚れはよく拭いて取り除いてください。
接触不良などによる感電や火災の原因となります。



長時間使用しない場合は電源ケーブルをドライブレコーダー本体から外してください。車両バッテリーの放電や火災が起こる恐れがあります。
また、長期間にわたって本製品を密閉された空間、炎天下、高温の環境に放置すると火災や故障の原因となります。



本体は防塵、防滴、防水仕様ではありません。水をかける、濡れた手で操作する、異物を入れるなどの行為は行わないでください。感電や火災、故障の原因となります。



本製品内に結露が生じた場合は使用しないでください。低温の場所から高温の場所に移動した際に結露が発生しやすくなり、故障や発熱の原因となります。



本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。



磁石などの磁気をおびたものを本製品の近くに置かないでください。故障やデータ破損の原因となります。



本製品の穴や隙間にピンや針金などの金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。



運転者は走行中に操作及び画面の注視をしないでください。法律で禁止されている行為であり、また事故の原因となりますので絶対に行わないでください。



分解や修理、改造は行わないでください。感電や火災、故障の原因となります。



取付について



エアバックの動作を妨げる場所には取付や配線を行わないでください。動作したエアバックによる事故やケガ、またはエアバックが正常に動作しない場合があります。



取付は、本書に従って正しく行ってください。また、走行時や検査時にはレコーダー本体をマウントから取り外さないでください。誤った取付は道路運送車両法の保安基準に違反する場合があり、また、事故の原因となります。



ラジオやカーナビなど、他の電子製品と電波干渉する場合があります。
電波干渉した場合は配線・本製品などの機器・アンテナ等の位置を変更していただとか、
市販のフェライトコア等のノイズ軽減アイテムで電波干渉の軽減を行ってください。なお、
ノイズ対策を施しても確実にノイズを防止できるものではありませんので、予めご了承ください。



電源について



電源ケーブルを外す際は、必ずコネクタ部分を持って行ってください。電源ケーブルが損傷すると、感電および火災の原因となります。



輸入車などの一部の車両では、エンジンを停止してもシガーソケットに常時電源が供給されるものがあります。その場合は、降車時に電源ケーブルを抜いてください。



シガーソケットによる給電で、エンジンをONにすることで撮影が開始されます。駐車監視モードの使用には、市販の常時電源ケーブルによる接続が必要になります。



一部のアイドリングストップ車では、再始動時の電源を確保するため、供給電圧が低下することがあります。これにより本製品への電源供給が停止する場合があります。



本製品は外部給電以外で動作させることはできません。



カメラについて



バックカメラの取付位置によっては、バックカメラ表示時、後続車両のライト（直接光・反射光）がまぶしく見える場合があります。



ダッシュボードなど温度が急激に上昇する場所に放置しないでください。変形および火災の原因となります。



長時間の使用によりカメラ本体が高温になった場合は、直接手で触れないでください。ヤケドの原因となります。



カメラ本体の端子を手で触らないでください。故障の原因となります。



清掃の際、研磨剤入り洗剤、アルコール、有機溶剤入りの洗浄液を使用しないでください。



レンズに直接日光を長時間当てないでください。故障の原因となります。



レンズ表面に泥や砂、指紋などの汚れが付着したときは、クリーニングクロスや纖維くずの出ない乾いたきれいな布で拭き取ってください。



本製品は、バックカメラ接続時でも撮影カメラの選択によってバックカメラでの録画ができなくなります。その場合はメニューよりカメラ選択を選んで設定してください。



急な明るさの変化、強い逆光状態、夜間撮影時に光源が無いなどの条件下では、録画画質が落ちることがあります。



明るい場所から暗い所へ移動した場合(トンネル等)、大きな明暗差でノイズが発生する場合がありますが、これは感度調整によるもので、故障ではありません。



LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。



夜間等の暗い所では、次のような現象が発生することがあります、異常ではありません。

●映像の色と実際の色が異なって見える。

●後続車のライトの高さ等によっては、後続車の周囲が白くぼやけて見える。

●映像を自動的に調整することにより、特有のチラツキが発生する。



録画について



記録した映像やデータを違法な目的で使用しないでください。



記録した映像やデータは、使用方法によっては他人の法的な権利を侵害する可能性があります。本製品で記録した映像やデータの内容、それらを起因とした事項については、当社は一切責任を負いません。



本製品は事故の証拠としての効力およびナンバーや車種、色などの特定を保証するものではありません。



本製品はすべての状況下における録画を保証するものではありません。また、本製品の使用や故障によって生じた損失、および記録された映像やデータの損傷などによる損害については、当社はその責任を一切負いません。あらかじめご了承ください。



録画性能や記録時間などは被写体や周辺環境などに影響され、変動する場合があります。また、急激な明るさの変化や逆光、夜間などは画質が低下することがあります。



レンズ表面や車両ガラス表面はいつもきれいにしておいてください。ホコリや異物による乱反射や屈折により、映像が乱れる恐れがあります。



暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドライトやフォグランプを点灯してください。



夜間に録画した映像にノイズが入っているように見えたり、一瞬映像が赤くなる場合がありますが、これは感度調整によるもので、故障ではありません。



バックカメラ取付位置によっては、夜間時に対象が上手く撮影できない可能性があります。角度や位置を調整し、実際に何度も撮影して写りを確認してください。



SDカードについて



長時間の使用によりSDカードが高温になった場合は、直接手で触れないでください。ヤケドの原因となります。



油が付いた手や濡れた手でSDカードを触らないでください。損傷、誤作動、故障の原因となります。



データのバックアップ、フォーマット、システムリセットおよび動作中は、絶対にSDカードを取り出さないでください。データやSDカードが損傷し、使用できなくなる恐れがあります。



SDカードを落としたり強い衝撃を与えないでください。破損およびデータが損失する恐れがあります。



スロット内に異物を入れたり、端子部分を手で触らないでください。破損、誤作動、故障の原因となります。



SDカードを挿入するときは、必ず正しい向きで差し込んでください。浅い差し込みや無理な挿入はSDカードを破損させる原因となります。



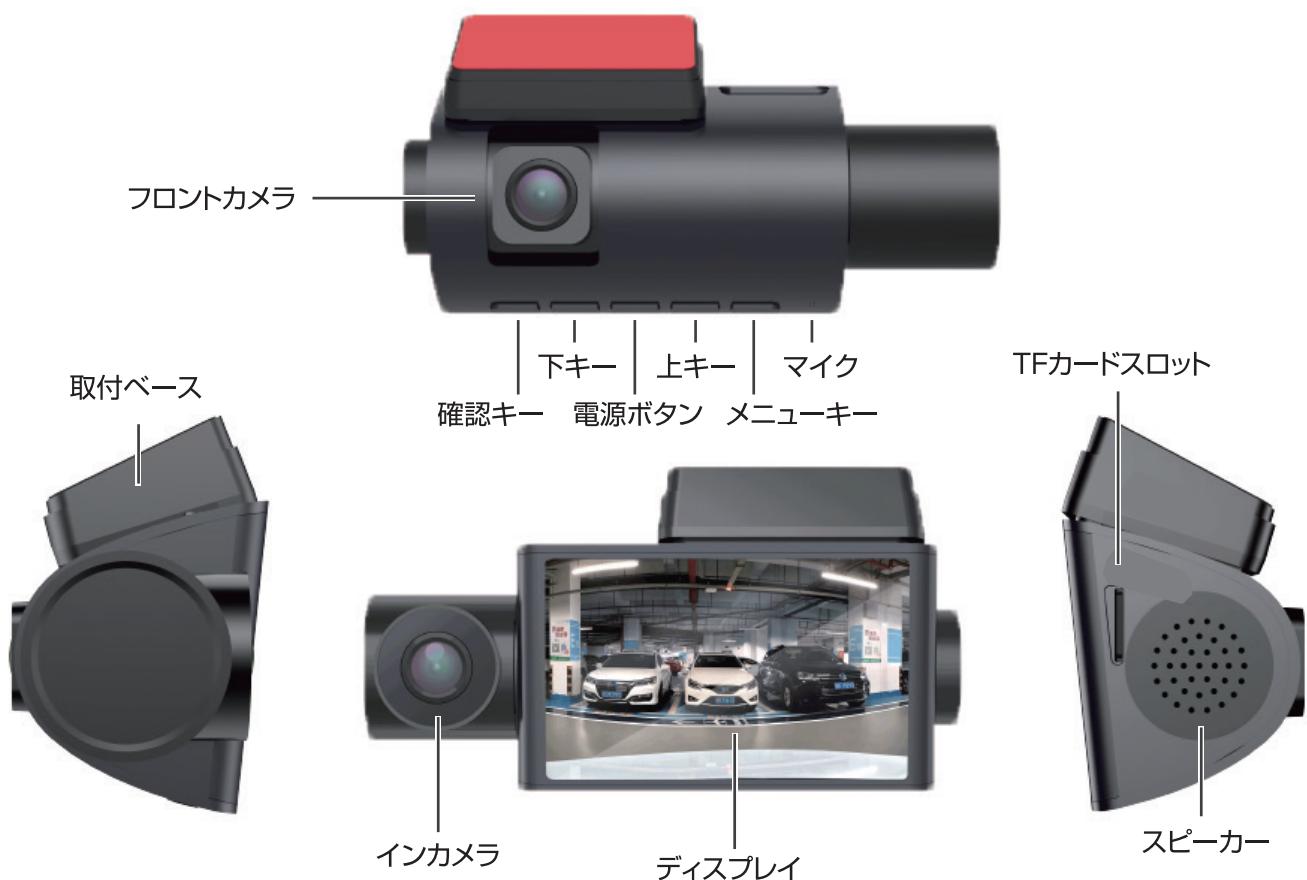
SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤作動を起こす場合があります

以下の場合、SDカードをフォーマットしてください。



- 新規のカードを使うとき
- ほかのカメラやパソコンなどでフォーマットしたカードを使うとき
- 書き込み／読み取り速度が遅くなったと感じたとき
- カード内のデータをすべて消去したいとき

3 本体各部の名称



4 取付・ご使用前に

※取付作業のすべてと、microSDカードのセットはドライブレコーダー本体の電源がOFFで通電していないことを確認して行ってください。

■ microSDカードをセットする

本体横のカードスロットにmicroSDカードをセットすることで録画機能が使用できます。セット時は向きに注意して力チッと音がするまで差し込んでください。無理な挿入は破損の原因となります。



microSDカード

推奨
Class10

※ドライブレコーダーは使用中、大量のデータをSDカードに繰り返し読み書きする必要があります。

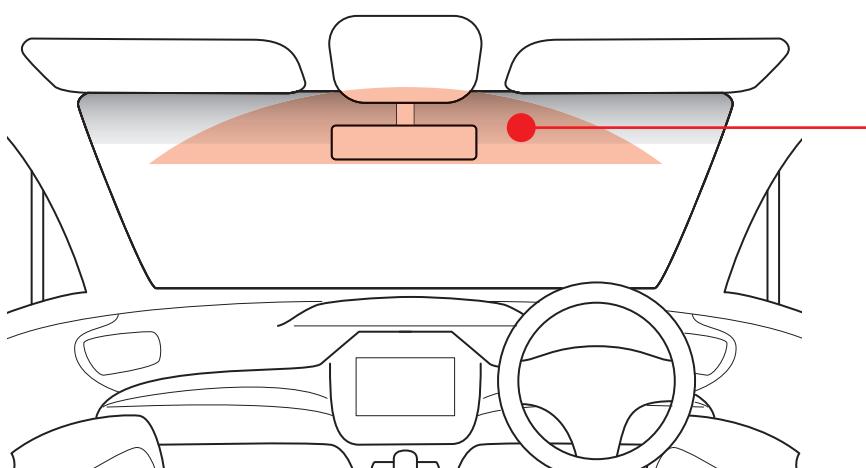
SDカードを購入される際は8~64GB、Class10を推奨しております。



印字面が手前になります。

5 取付方法

■ 本体取付場所について



※取付は必ずフロントガラス
上部20%以内の範囲。

注意:道路運送車両の保安基準

取付に適した場所の例

- ワイパーの拭き取り範囲内
- ガラスの着色範囲外
- 車検などのステッカーに干渉しない
- ルームミラーの操作ができる
- 視界を妨げない
- 電源コードの取付、操作のしやすい位置

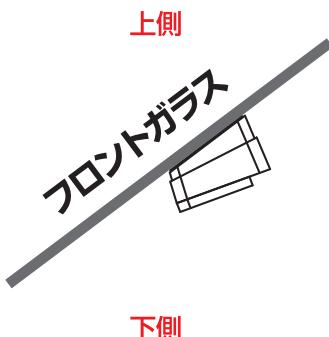


- ※配線ケーブルなどがエアバックの動作の妨げにならないよう、ご注意ください。
- ※衝突被害軽減ブレーキなどのセンサーがルームミラーにある場合は、車両説明書に記載された取付禁止エリアをご参考の上、お取り付けください。
- ※本体周辺に物を配置しないでください。映像へ映り込む可能性があります。

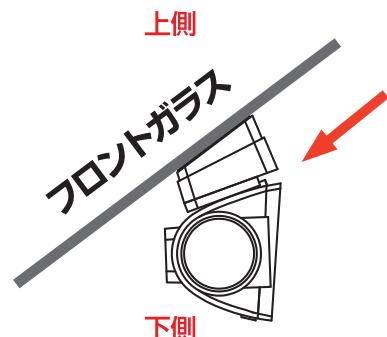
■ 本体の取付方法



- ①取付ベースに付けられた両面テープから剥離紙を剥がす。



- ②取付場所の要件を満たす所に、貼りつける。
※フロントガラス保護シートを先に貼ると、剥がしやすくなります。



- ③本体を取付ベースにスライドさせて固定する。



- ※両面テープの接着面に油分や水分があると、走行時に剥がれる可能性があります。
- ※ガラスに熱線やアンテナがある場合は、貼り付け面が重ならないようにしてください。

■ シガー電源への接続

シガー電源ケーブルの接続は右の図を参考に、取付を間違えないようご注意ください。

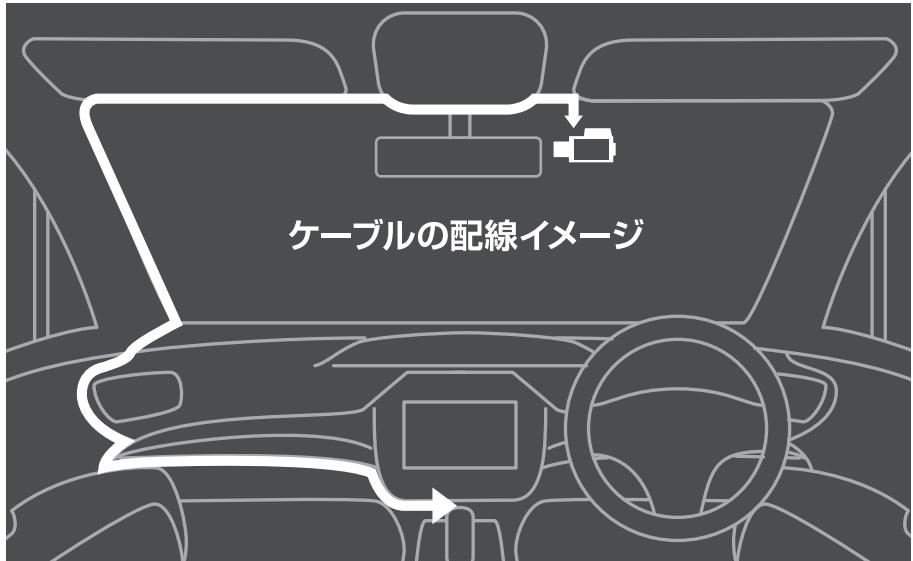


■ シガーエンターテイメントシステムの配線について

シガーエンターテイメントシステムの配線は右の図をご参考ください。

お車の種類によって本体取付位置が変わりますので、場合によっては運転席側を通した方が良い場合もあります。

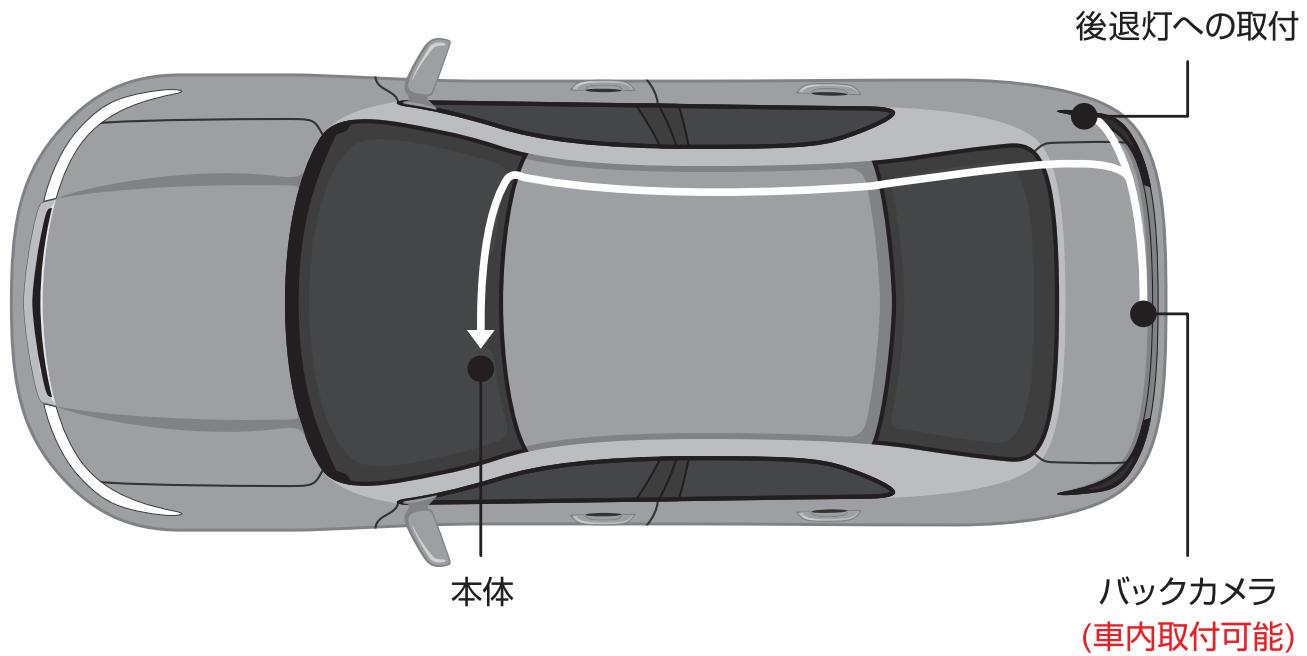
固定前にケーブル長の過不足や、センサー、視界の邪魔が無いかをご確認ください。



■ バックカメラの配線について

付属のバックカメラを本体と接続することで、後方の映像を確認・録画することができます。

バックカメラの配線イメージ



※バックカメラの取付位置や配線処理は、お車の種類や形状によって大きく異なります。事前に取付位置や配線処理の計画を立てて作業を行うようしてください。また極端に車両後方に張り出したりナンバープレートが見えにくい場合が無いよう、取付には十分注意してください。

■ バックカメラの取付方法【車外取付】

※配線やバックカメラの固定の前に動作確認を行ってください。

①バックカメラの位置を確認し取付

車外の取付位置を確認し、配線場所を決める。
(取付は付属のバックカメラスタンドや両面テープを使用する。)

※バックカメラは防塵・防水等級IP67です。

※お車によっては取付作業の難易度が高い場合があります。その際は業者利用をご検討ください。



バックカメラ取付位置や配線はお車によって、ご検討ください。

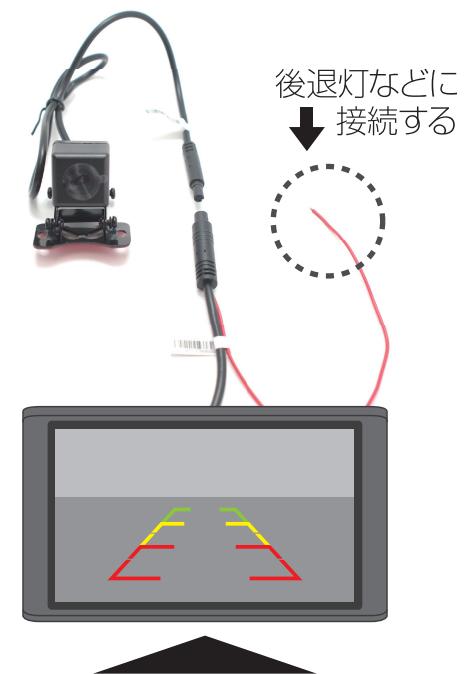
②車内にケーブルを引き込む

車内へバックカメラケーブルを引き込み、市販のケーブルフックなどで配線処理を行う。

③電源を確保して、本体と接続する

電源を確保したらバックカメラケーブルを本体と接続します。

バックギアと連動させる場合は、赤い配線を後退灯などに接続してください。後退灯に接続することでバック時にガイド線が表示されるようになります。



ガイド線が表示されているか確認してください

④バックカメラ映像の確認

車のエンジンをかけ、バックギアに入れるとバックガイド線がディスプレイに表示されます。

■ バックカメラの取付方法【車内取付】

①バックカメラを車内スタンドでリアガラスに固定する。

車内の取付位置を確認し、配線場所を決める。
(取付は付属のバックカメラスタンドと両面テープを使用する。)

以降の作業は車外取付の②～④を参考にしてください。
取付時に接着があまいと、走行時に外れる可能性がありますのでお気を付けください。

注意

- ・車種によっては撮影範囲が確保できない場合があります。
- ・リアガラスの状態によっては雨等で上手く撮影できない場合があります。

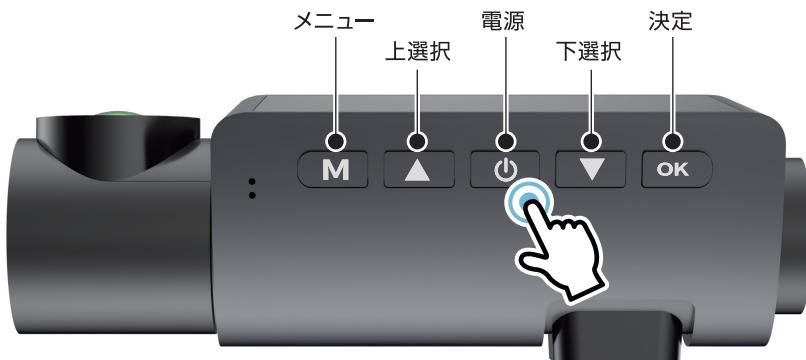
上記以外に取付位置が確保できない等ありましたら、車外取付をご検討ください。

6 操作方法

■ 電源のON/OFF

本製品は、エンジンのON/OFFによって自動的に電源がON/OFFとなります。

⚠ 注意 : 自動電源は、本体が電源に接続されていることを前提としています。



手動で電源を**ON/OFF**する。

ON … 本体下、電源ボタンを押す。

OFF … 電源ボタン長押し(3秒以上)。

スーパーキャパシタ(バックアップ電源)搭載機は、車の電圧低下や久しぶりに使用する時などに、起動時間がかかる場合があります。

■ 本体の初期設定

ご使用前に以下の設定をご確認ください。

日付・時間設定

正しい日付と時刻を設定するには以下の操作を行ってください。

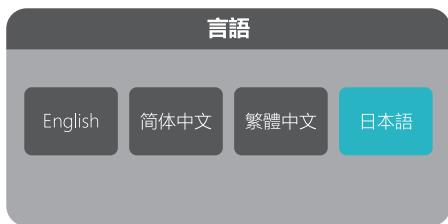


ご利用時に時間にズレが生じる場合があります。
その場合は、再度設定を行ってください。

- ① メニューボタンを押し、画面を開きます。
- ② 選択ボタンで【日付・時刻】を選び、決定ボタンで選択します。
- ③ 選択ボタンで数値調整を行い、決定ボタンを押すと次の項目が選択されます。
- ④ 年月日が調整できたら、決定ボタンを押して設定を確定します。
- ⑤ メニューボタンを押し終了します。

言語設定

使用言語を設定するには以下の操作を行ってください。



- ① メニューボタンを押し、画面を開きます。
- ② 選択ボタンで【機能設定】を選び、決定ボタンで選択します。
- ③ 選択ボタンで【言語】を選び、決定ボタンで選択します。
- ④ 選択ボタンで希望の言語を選び、決定ボタンで選択します。
- ⑤ メニューボタンを押し終了します。

画面表示について

画面に表示される情報についての詳細です。



- | 状態表示 | 操作表示 |
|-----------|------------------------------------|
| ① 録画時間 | 録画時間を表示します。 |
| ② 時間表示 | 現在の日時を表示します。 |
| ③ ロック表示 | 撮影中の動画がロックしているか表示します。(→ ロック中) |
| ④ SDカード表示 | SDカードが挿し込まれているか表示します。 |
| ⑤ 録音表示 | 録音状態を表示します。 |
| ⑥ 電源表示 | 電源接続の状態を表示します。 |
| ⑦ メニューボタン | 下部のボタンを押すことでメニューを開きます。 |
| ⑧ 録画表示 | 下部のボタンを押すことで録画のON/OFFを切り替えます。 |
| ⑨ カメラ表示変更 | 下部のボタンを押すことで前方・車内・後方のカメラ表示に切り替えます。 |
| ⑩ 録音ボタン | 下部のボタンを押すことで録音のON/OFFを切り替えます。 |
| ⑪ ロックボタン | 下部のボタンを押すことで録画データにロックをかけます。 |

メニュー表示



※それぞれの詳細に関しては、対応ページをご確認ください。

- モニター撮影画面に戻ります。
- 日付/時刻日付/時刻を設定します。▶11P
- ファイル選択録画データを再生します。▶16P
- 機能設定機能設定を行います。▶17P
- フォーマットSDカードをフォーマットします。▶13P
- カメラ選択撮影カメラの設定をします。▶13P
- 設定初期化設定を初期化します。
- 製品情報製品情報を確認します。



※インカメラは赤外線カメラのため、日中の撮影時は色味が紫がかることがあります。

これは赤外線カメラの仕様によるもので、正常な映像ですのでご安心ください。

※**安定した日々の撮影を行うため、最低でも1か月に1度はSDカードのフォーマットを行ってください。**その際にロックされたデータも削除されますので、必要なデータはパソコン等にバックアップをしてください。

撮影の前に

以下の場合、microSDカードをフォーマットしてください。

- 新規のカードを使うとき。
- ほかのカメラやパソコンなどでフォーマットしたカードを使うとき。
- 書き込み／読み取り速度が遅くなったと感じたとき。
- カード内のデータをすべて消去したいとき。



**フォーマットはメニューボタンを押し
左図のアイコンを選んで実行してください。**

撮影方法

本製品は、電源のONによって自動的に撮影され、また電源がOFFになることで撮影が終了します。

**録画時にバックカメラを接続していれば、フロント・インカメラ映像と一緒に
バックカメラ映像も同時に録画されます。**

※カメラ選択によって有効状態に設定された映像に限ります。

カメラ選択



- メニュー表示から、カメラ選択を選んで設定を行います。
フロントカメラ・バックカメラ・インカメラから、下記のような組み合わせで録画を行うことができます。



前



前+後撮影



車内



前+車内撮影



前+後+車内撮影



後



前



車内

■ 常時録画とイベント録画



【自動上書き録画機能搭載】

microSDカードの容量がいっぱいになると自動的に古いファイルから上書きされ、ロックされたファイルは保護されます。

常時録画

特に操作が行われない場合、本体の電源が入ることで常時録画として保存されます。

- 本体再生を行う際、録画データの保存先(ファイル選択)は常時録画となります。
- 上書き録画によって、古いデータから削除されます。

イベント録画

ロックボタンを押すか、Gセンサー機能を有効化している時に衝突が検出されると、イベント録画として保存されます。

- 本体再生を行う際、録画データの保存先(ファイル選択)はイベント録画となります。
- イベント録画は上書き録画から保護されます。

※SDカードの容量不足の時は、新しいイベント録画が発生した際に、古いイベント録画から上書きされますので必要なデータはあらかじめバックアップしてください。



ロックボタン(OKボタン)

OR



Gセンサー作動

録画中にロックボタン(OKボタン)を押すことで、現在録画中のデータがロックされます。
ロックされたデータはイベント録画として保存されます。

Gセンサーを有効にしていると、電源が供給状態の時であればセンサーによって、衝突を検知してイベント録画として保存します。

Gセンサーの設定

Gセンサーの感度は、初期設定で「中」に設定されています。変更するには以下の手順で設定してください。



- メインメニューから、「機能設定」を選択します。
- 機能設定メニューから「Gセンサー感度」を選択します。
- 「オフ/高/中/低」から任意の設定を行ってください。

※「中」設定が標準感度です。ご使用環境によって感度が微妙な場合は変更してください。

駐車監視モード

市販の常時電源ケーブルと接続することで、エンジンを切った状態でも録画(監視時はタイムラプス撮影)を行うことができます。監視時、Gセンサーが反応した場合はイベント録画として保存されます。

※シガーソケットによる給電方式ではエンジンOFF時に駐車監視を行うことはできません。

常時電源ケーブル接続時、追加で設定が増えます。

※常時電源接続時は機能設定(17P詳細)に設定項目が追加されます。

設定によっては機能をOFFすることになりますので、利用時は必ず設定をご確認ください。

常時電源ケーブルの取付について

常時電源ケーブルの設置は、一般的に少し手間がかかります。

また、車種によって詳しい取付方法は異なるため業者のご利用をお勧めいたします。

一般的な取付手順としては下記手順となります。

- ヒューズボックスを探す。
- 検電テスターを利用して、常時電源ヒューズを探す。
- 常時電源ヒューズに電源取得用配線を繋げる。

ヒューズボックスは運転席や助手席の足元にあることが多いですが、車種によって異なるためお車の取扱説明書を事前にご確認ください。



※本製品には常時電源ケーブルは付属しておりません。ご購入の際はお車のヒューズをご確認の上でお買い求めください。(ヒューズが合わない場合、使用できません)

※長時間バッテリーを使用することによって、バッテリー寿命を早めてしまったり、バッテリー上がりを起こしてしまう可能性があります。(常時電源ケーブルには保護機能が付いている製品もあります。ご購入の際はそちらをご参考ください。)

※Gセンサーの反応による撮影ですので、様々な事態に対して撮影を約束するものではありません。

■ 本体での再生

- メインメニューから「ファイル選択」を選びます。
- 「常時録画」か「イベント録画」を選択します。
- 「フロントカメラ」「インカメラ」「バックカメラ」に分かれて保存されていますので、見たいカメラの録画を選択してください。

常時録画………通常撮影される動画

イベント録画………ロックされた動画(Gセンサーによって撮影された動画も含む)



- ① 戻るボタン ----- 録画データ(フロント・イン・バック)から
「常時録画」・「イベント録画」の選択へ戻ることができます。
- ② 上選択ボタン----- 前の動画を選択できます。
- ③ 下選択ボタン----- 次の動画を選択できます。
- ④ 決定ボタン----- 選択中のファイルを再生します。
- ⑤ 日付と時刻 ----- 録画した日付と時間の表示です。
- ⑥ カメラ選択ボタン ---- フロント・イン・バックカメラの各録画データに切り替えます。

■ パソコンでの再生

- 本体からmicroSDカードを取り出します。
- 取り出したmicroSDカードをパソコンで読み込みます。そのまま読み込めない時は、カードリーダーや、SDカード変換アダプターを使用して読み込んでください。

※本製品にはカードリーダーは付属しておりません。市販品をお買い求めください。

機能設定の項目と設定内容について

項目	設定内容	設定詳細
録画サイズ	録画解像度を設定	1920×1080(Full HD)、1280×720(HD)
1ファイル時間	1ファイル毎の撮影時間を設定	1分/2分/3分
音声録音	音声を録音するか設定	ON/OFF
本体音量	再生音量の調整	10段階で調節
操作音	操作音の設定	ON/OFF
画面自動オフ	録画中の画面シャットダウン設定	OFF/1分/3分
常時電源利用時	カメラ選択	カメラの常時利用設定
	感度設定	Gセンサーの利用設定 OFF/高/中/低 (注意:駐車監視時の設定です)
Gセンサー感度	衝突検出の感度設定	OFF/高/中/低 (注意:通常録画時の設定です)
言語	画面表示の言語設定	English/簡体中文/繁體中文/日本語
タイムスタンプ	録画中の時間データの設定	時間データあり/なし
光源周波数	地域の設定 ^{※1}	50Hz/60Hz
データの削除	録画データの削除 ^{※2}	常時録画/イベント録画

※1 東日本50Hz、西日本60Hz

※2 削除したファイルは復元できません。大切なデータは必ずバックアップをお取りください。

常時電源利用時の設定について

駐車監視を行うためには必ず下記設定を行ってください。

カメラ選択	感度設定	撮影詳細
ON	高/中/低 (どれか選択)	常にシュリンクビデオ(タイムラプス)録画を行います。 衝撃を検知(選択した感度で)した時、イベント録画として保存されます。

※ カメラ選択、感度設定をOFFにすると、録画及びイベント録画が行われなくなります。

※ タイムラプステータ1分あたり、現実の27.5分間の撮影となります。

(撮影時間:27.5分=書き出される動画の長さ:1分)

本体サイズ		約11.5×6.5×3.8cm
液晶サイズ		3インチ
	フロントカメラ	1080P 200万画素 27.5FPS WDR撮影
カメラ性能	バックカメラ	720P 125万画素 25FPS
	インカメラ	720P 125万画素 25FPS
バックカメラ防塵・防水等級		IP67
本体重量		約110g
動作電圧		DC12/24V
消費電力		2W
動作温度範囲		-20℃~60℃
映像ファイル形式		MOV
音声録音		ON/OFF
バックアップ電源		スーパーキャパシタ
駐車監視モード		あり (※常時電源ケーブルが必要になります。)
Gセンサー		あり
付属SDカード		microSDカード 32GB(class10)

※SDカードは消耗品です。

フォーマットしても正常に動作しない、録画できない場合は、SDカードの寿命が考えられますので買い替えをお勧めします。またこのようなSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。

■ テーマ

トラブルシューティング

使用時に動作がおかしい時は、まずこちらの操作をお試しください。

異常	原因	解決法
起動しない	シガー電源ケーブルやシガー電源の故障、接続不良	シガー電源ケーブル、シガー電源が故障していないかチェックし、故障していない場合は本体との接続をご確認ください。
	電圧不足	エンジン起動後、しばらく走行することでバッテリー電圧が上がります。この電圧の改善によって本体は起動します。走行しても起動しない場合は、お車の電圧をご確認ください。
SDカードが認識されない	microSDカードの破損	推奨microSDカード 8~64GB (Class10) に交換する。
	互換性の無い microSDカード	
	microSDカードの速度が遅い	
再生時に音が鳴らない	音量設定が0になっている	設定から音量を調整する。
	録音がOFFになったデータを再生している	設定から録音をONにする。 ※設定後、次の録画データから音声が録音されます。
動画が保存されない	microSDカードが挿入されていない	microSDカードを挿入する。
	イベント録画のファイルでいっぱいになっている	イベント録画の不必要的ファイルを削除する。 または、microSDカードをフォーマットする。 (すべてのデータは削除されます。)
	microSDカードの破損	推奨microSDカード 8~64GB (Class10) に交換する。
動画が再生できない	パソコンで編集された動画のため再生できない	本体での再生可能データは本体で撮影された編集無しのデータのみとなっています。
バック録画に対してフロント録画が暗く感じる	カメラ角度によるWDRの反応	フロントカメラの角度が上を向きすぎると、光が多くあたるため画像を暗くしてバランスを取ろうとします。 カメラ角度を地面に対して水平になるよう調整してください。
改善されない症状	不良・故障の可能性	弊社カスタマーサポートにご連絡ください。→表紙

録画容量の目安

本製品付属のmicroSDカード(32GB)で撮影できるおよその目安です。

カメラ	1分あたり(約)
フロントカメラ (1080P)	122MB
バックカメラ (720P)	47MB
インカメラ (720P)	47MB

3カメラ録画で約2.5時間分録画できます。

※本製品付属のmicroSDカード(32GB)使用時

Gセンサー作動時のイベント録画タイミング

走行時(録画中)にGセンサーの作動でイベント録画を行った際は下図のようになります。

1ファイル1分設定時



走行時に衝突を検知した際は、前1分+現在1分+後1分のデータがロックされます。